

「学びの21世紀塾」開塾の動機

1. 平成14年度から完全学校週5日制の実施に伴い、行政(教育委員会)の責任として何かできることはないかという視点

完全学校週5日制導入を前に、児童・生徒・保護者に向けアンケートを実施したところ、約70%の保護者がある導入に不安を抱いていた。その主なものは、「学力低下が40%強」、「目が行き届かず不安25%」であった。

また、児童・生徒の要望では、「友達と外で遊ぶ」、「家族で過ごす」が一番多かったが、「勉強、趣味、スポーツなど」も約20%あり、保護者の要望では、以上の3つが約50%という結果が出た。

2. 「教育のまちづくり」からの視点

豊後高田市は、何よりも大切な財産である子どもたちに、自分で課題を見つけ、「自ら学び自ら考える力」を身に付け、豊かな人間に育って、21世紀を大きく、たくましく、そして確かに生き抜いて欲しいという思いから、「教育のまちづくり」に力を入れている。

このような2つの視点から、子どもの学びの選択肢を広げ、可能性を最大限に引き出したいという思いで「学びの21世紀塾」をスタートさせた。

3. 組織と内容

